

令和8年度 第62回 建築設計競技募集要項

課題「家族みんなで幸せに暮らす住まい」

現在、市街地のアパートに住んでいる家族が、このたび地方都市の郊外に新たな住まいをつくり、生活を楽しみ、自然を感じながら、地域の方々と交流するなど、家族みんなで幸せに暮らしたいと思っています。そこで、あなたの感性で、この家族の新たな夢あふれる住まいを自由に提案して下さい。

I. 設計条件	
(1) 敷地	地方都市の郊外にある土地で、敷地面積は360㎡とする。 西側に幅6mの道路に接し、東側・南側・北側は隣地である。 道路及び隣地との高低差はない。 用途地域等の指定はないが、建ぺい率60%以内、容積率200%以内とする。
(2) 延べ面積	120㎡以上とする。
(3) 構造	木造2階建てとする。
(4) 家族構成	夫婦、子供3人の計5人とする。 ※設計主旨に家族構成と想定年齢等を明記する。
(5) 家族の希望	① 生活を楽しむことができる家にしたい。 ② 自然の恵みを感じられる家にしたい。 ③ 地域の方々と交流できる家にしたい。
(6) その他	敷地やその周辺環境については、(1)を順守した上で、自由に設定し、その考え方を設計説明や図面で表現する。 (例)・敷地の周囲はのどかな郊外の風景が広がっている。 ・敷地の南東方向に地域のシンボルである山を眺めることができる。 ・敷地内には四季を感じる樹木(桜・銀杏など)がある。 など
II. 要求図面	
(1) 設計説明	図面内の適当な箇所に、設計主旨(作品においてとくに意識したこと。上記の家族構成等を含む)、敷地面積、建築面積、延べ面積(建ぺい率及び容積率を含む)及び <u>建物の主要な寸法を記入する</u>
(2) 各階平面図	1階平面図は、配置図を兼ねる。縮尺 1/100 ※玄関アプローチや外構植栽等も記入する。
(3) 立面図	2面以上。縮尺 1/100
(4) 断面図	1面以上。縮尺 1/100
(5) 透視図	外観透視図 着色インキング等の技法は任意。
(6) 製図要領	用紙はケント紙 A1版(594×841mm)を横使いし、鉛筆、インキングで鮮明に表現し、1枚にまとめる。 CADによる製図も可とするが、ソフトは学校で使用しているものに限る。 透視図の点景、背景等はもちろんのこと、すべて生徒のオリジナル作品とする。 用紙に直接作図する方法に限らず、別紙に作図した内容を用紙に添付する方法も可とする。
(7) その他	設計意図を表現するために必要と思われる図面等(適宜)。
III. 応募要領	
(1) 応募資格	県内にある高等学校、工業高等専門学校(ただし3年生まで)の建築系生徒とする。生徒1名につき1作品とする。
(2) 提出期限	令和8年9月18日(金)までに必着のこと。
(3) 提出先	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番301号 県住宅供給公社326号室(公社)鹿児島県建築士会事務局 (TEL 099-222-2005)
(4) 提出方法	作品はスチレンボード(大きさA1・厚さ6mm程度)に裏打ちの上、ボードの裏面に別紙「令和8年度 第62回 建築設計競技 整理票」を貼り付ける。(合作の場合は代表者を明記する。) 学校で作品を取りまとめ、別紙「令和8年度 第62回 建築設計競技 応募申込書」を添えて提出する。
IV. 審査委員	順不同、敬称略(予定)
審査委員長	木方十根 (鹿児島大学大学院教授) 梶井銀二郎 (鹿児島県建築協会会長)
審査副委員長	鷹野敦 (鹿児島大学大学院准教授) 外村選 (鹿児島県建築士事務所協会会長)
	上村康孝 (鹿児島県土木部建築技監) 米盛司郎 (鹿児島県建築士会会長)
	渡島秀夫 (鹿児島県土木部建築課長) 井之上由美子 (鹿児島県建築士会女性部会)
	福留孝一 (鹿児島市建設局建築部長) 徳永崇大 (鹿児島県建築士会事業委員長)
V. 発表	令和8年10月上旬。学校長に通知する。
VI. 入選・賞品	金賞1名、銀賞1名、銅賞2名、審査委員長特別賞(適宜)、佳作4名、奨励賞若干名、学校賞1校 (各賞に賞状と賞品を呈す)
VII. その他	主催者である公益社団法人鹿児島県建築士会は応募された全作品の内容について、応募作品の公表や、展示等において利用することができるものとする。
主催	公益社団法人 鹿児島県建築士会
協賛	一般社団法人 鹿児島県建築士事務所協会 一般社団法人 鹿児島県建築協会
後援	鹿児島県・鹿児島県教育委員会・鹿児島市・一般社団法人 日本建築学会九州支部鹿児島支所 鹿児島県ゆとりある住まいと街づくり推進協議会

